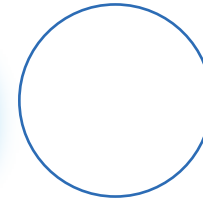
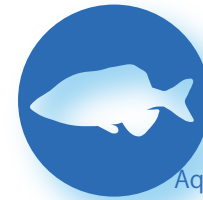
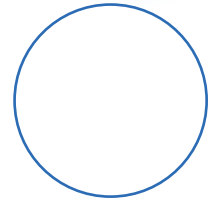




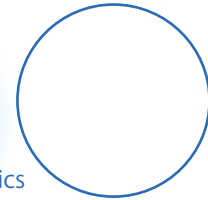
Birds



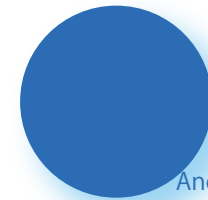
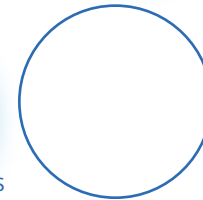
Insects



Aquatics



Events



And so on...

Eco Campus Project 2008

Contents

02. はじめに

03. 鳥類調査

05. 水生生物調査

07. 昆虫調査

09. 犬上川竹林プロジェクト

11. 高取山合宿

12. 荒神山観察会

13. 七夕

14. 湖風祭

15. 植栽マップ・樹木プレート作り

16. 野草の会

17. おわりに



エコキャンパスプロジェクト 2008 年度概要報告書

■発行日

2009年3月31日

■発行

エコキャンパスプロジェクト

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学内

HP : http://www.fya.jp/~eco_campus/index.html

■編集・デザイン

栗林修太

西口茜

■文・写真

飯島聡一郎

石丸薫

井上大樹

岩井光之

籠洋

岸本泰典

栗林修太

中川潤

西口茜

久富寛子

菱田尚子

柳沼勇多

おわりに

2003年度にエコキャンが立ち上げられ、今年度で7年目になります。今まで多くの方が様々な調査に関わって下さり、学内におけるいろいろなデータを集めることができました。しかしながら、「キャンパスを生き物で豊かにする」という目的に沿った形では、これらのデータをまだまだ活かしてきていないと考えています。エコキャンはISO14001環境マネジメントシステムの中で、財務グループとともに自然環境・生態系の管理保全をする役割を担っています。調査というからには何らかの目的をもって行動し、次につながる「何か」を探さなければなりません（見つかるか見つからないかは別として）。

エコキャンのメンバーの中でも興味を抱く対象はそれぞれ異なっており、力を入れる分野も違います。そのため、自分が関わっている調査以外のイベントにはどこ吹く風、という人もいます。しかし、それぞれ専門とする分野が異なっているということは、自然環境に関する切り口が多いという強みでもあります。あらゆる視点から、環境を改善するためのアプローチをかけていければと思います。

エコキャンは教職員や地域の方々に支えられて活動しています。これからも自由奔放に、にぎやかに活動を発展させていきます。

生き物部会副代表 栗林修太



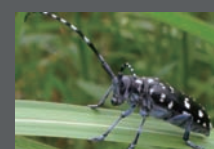
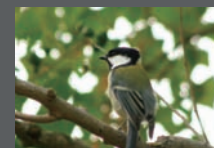
エコキャンパスセンター（えこ家）

はじめに

エコキャンパスプロジェクト（通称エコキャン）は学生と教員によって2003年度の春に立ちあげられ、2008年度で6年目をむかえました。我々エコキャンは「滋賀県立大学を循環型社会のモデルへ変えていく」という長期目標を柱にして活動しており、その一環として「県大を生き物でいっぱいにしよう」という目的を持って活動しています。主な活動拠点はグラウンドの南西にある「エコキャンパスセンター（通称えこ家）」及び「もくれん」です。現在の主な活動には、人と生き物が共存できるようなキャンパスづくりを目的とした自然環境調査（鳥類、水生生物、昆虫、植栽）、自然素材を使ったモノ作りから環境を考えてもらう活動をしている木楽部会やその他活動（草木染め、野草の会など）、環濠の在り方について考える環濠プロジェクト、そして犬上川河辺林の環境改善を目指して活動している犬上川竹林プロジェクトで構成されています。

今回はこれらの活動で実際にどんなことを行っているのか、あらまし程度ですが紹介します。もしこの本を読んでエコキャンの活動に興味を持ったのならば、ぜひあなたも参加してみませんか？

生き物部会代表 柳沼勇多



おわりに

2003年度にエコキャンが立ち上げられ、今年度で7年目になります。今まで多くの方が様々な調査に関わって下さり、学内におけるいろいろなデータを集めることができました。しかしながら、「キャンパスを生き物で豊かにする」という目的に沿った形では、これらのデータをまだまだ活かしてきていないと考えています。エコキャンはISO14001環境マネジメントシステムの中で、財務グループとともに自然環境・生態系の管理保全をする役割を担っています。調査というからには何らかの目的をもって行動し、次につながる「何か」を探さなければなりません（見つかるか見つからないかは別として）。

エコキャンのメンバーの中でも興味を抱く対象はそれぞれ異なっており、力を入れる分野も違います。そのため、自分が関わっている調査以外のイベントにはどこ吹く風、という人もいます。しかし、それぞれ専門とする分野が異なっているということは、自然環境に関する切り口が多いという強みでもあります。あらゆる視点から、環境を改善するためのアプローチをかけていければと思います。

エコキャンは教職員や地域の方々に支えられて活動しています。これからも自由奔放に、にぎやかに活動を発展させていきます。

生き物部会副代表 栗林修太



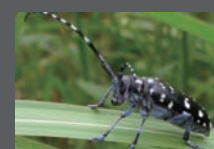
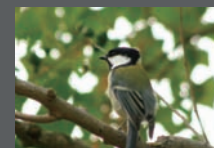
エコキャンパスセンター（えこ家）

はじめに

エコキャンパスプロジェクト（通称エコキャン）は学生と教員によって2003年度の春に立ちあげられ、2008年度で6年目をむかえました。我々エコキャンは「滋賀県立大学を循環型社会のモデルへ変えていく」という長期目標を柱にして活動しており、その一環として「県大を生き物でいっぱいにしよう」という目的を持って活動しています。主な活動拠点はグラウンドの南西にある「エコキャンパスセンター（通称えこ家）」及び「もくれん」です。現在の主な活動には、人と生き物が共存できるようなキャンパスづくりを目的とした自然環境調査（鳥類、水生生物、昆虫、植栽）、自然素材を使ったモノ作りから環境を考えてもらう活動をしている木楽部会やその他活動（草木染め、野草の会など）、環濠の在り方について考える環濠プロジェクト、そして犬上川河辺林の環境改善を目指して活動している犬上川竹林プロジェクトで構成されています。

今回はこれらの活動で実際にどんなことを行っているのか、あらまし程度ですが紹介します。もしこの本を読んでエコキャンの活動に興味を持ったのならば、ぜひあなたも参加してみませんか？

生き物部会代表 柳沼勇多





■概要

鳥は空を飛ぶことから人間にとってとても魅力的な動物です。また、食物連鎖で高い栄養段階に位置することから環境にとっても敏感だと考えられています。この調査では、学内の環境を改善していくうえで鳥の行動は重要な指標になると考え、学内とその周辺に暮らす鳥の数や行動などを調べています。

■今年度の活動

月に3度、学内と犬上川の周りを歩いて、観察した鳥の種名、個体数、場所、行動を記録しました。調査の結果、今年度は学内で51種もの鳥が見られ、新しい種も数種、観察されました。日本でも珍しい種が学内で確認されるなど、この地域一帯は鳥にとってとても暮らすのに適した場所であることが明らかになってきました。また、今回シジュウカラの巣箱を作りました。この巣箱については今後に期待したいと思います。

■来年度の活動

来年度は興味をより持ってもらえるようなイベント的な活動を多くしていきたいと思っています。



オオハクチョウ



ハヤブサ



カルガモとアイガモ

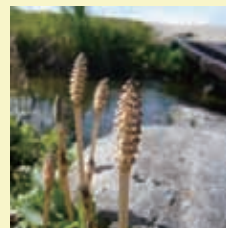


キジ

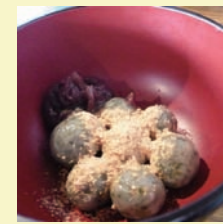
普段、何気なく生活していると身の回りにどんな草木があるのか、それはどんなふうにするか使えるのかは気付かないし、わかりません。けれど、道ばたや県大の中にごく普通に生えている植物でも、実はすごくおいしかったり、草木染めをしてみるときれいな色が出たりと、驚くべき力を秘めています。そんな植物の魅力を存分に楽しもう、というのが野草の会です。

例えば、春に芽生えるヨモギやツクシ。食べられるとは知っていても、実際に食べたことのある人は結構少なかったりしませんか？食べたことはあっても、それは小さい頃のことではないでしょうか。ちょっと童心に戻って、ヨモギを摘んで、自分でお団子を作って食べてみると懐かしく、穏やかな気持ちになれますよ。

自然に生えている植物は季節によって違います。その季節に限定の植物を食べてみたり、草木染めや工作に使ってみたり、そのときの気分でのんびり活動していく予定です。



ツクシ



よもぎ団子



桜で染めたハンカチ

樹木プレート



プレート作成中...



完成!



設置

エコキャンでは 2004 年から大学の植栽木の種類や位置を調べる植栽調査を行っており、その結果を基に学内の地図上に植栽木を記した植栽マップを作成しています。

そのような植栽木との関わりを経て、「大学を利用する多くの人に樹木に対して興味や愛着を持ってもらいたい」との想いが芽生え、「樹木の種類や特徴などを記した樹木プレートを大学内の樹木に設置しよう」ということになりました。

自分で作ったプレートが学内の樹木に掛かっているなんて、素敵だと思いませんか？

まだまだ始まったばかりの活動です。興味ある人、一緒に頑張りましょう！

木に設置するとこのような感じになりました。
ちなみに、樹木プレートを設置した木はクリではありません。ソメイヨシノです

巣箱作り



巣箱設置中

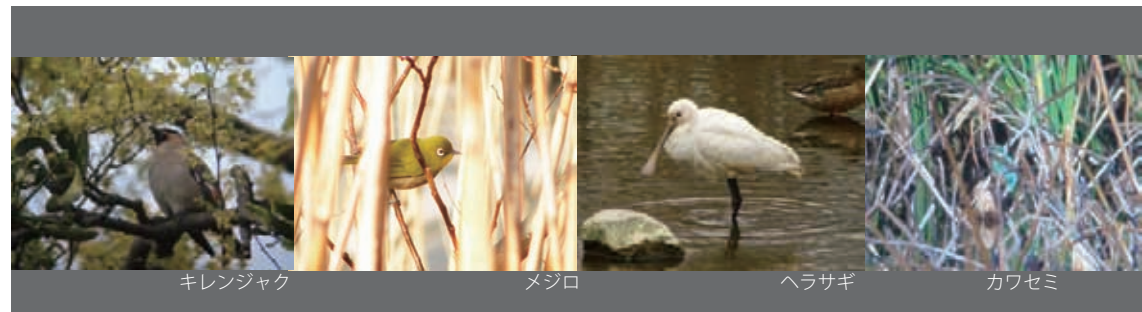


設置完了!

→ ?
どうなるかな?



キジバト



キレンジャク

メジロ

ヘラサギ

カワセミ



測定中

■概要

水の流れるキャンパスは滋賀県立大学の特徴です。琵琶湖から取り入れられた水は学内をめぐって再び湖に辿り着きます。水路は大学の外の江面川にもつながっていて生物の行き来も可能です。そのことからキャンパスの水路が学外の生物にとって大切な役割を果たしていると考えられます。私たちはキャンパス内に生息している水生生物の種類や繁殖などを調べて、学内が人と生物にとってより良い環境になることを目指しています。

調査では、水生生物の採集と計測をしています。長靴をはいて水路に入り、タモ網でジャブジャブとすくって水生生物を採集しています。

■今年度の活動

今年度に採集した生物は魚類が 11 種、両生類が 1 種、は虫類が 1 種、甲殻類が 4 種でした。採集を行った場所は 2 か所と少なかったですが、場所によって採れる生物の種類や数が異なることが分かりました。2007 年から水路で外来種と思われるヌマエビが増殖しているのですが、これは放流されたものである可能性があるため、学内で放流しないように注意を呼びかけます。



ヌマエビ

湖風祭

2008.11.7(Fry) ~ 9(sun)

2008 年度の湖風祭では、模擬店、竹箸作り、展示企画を行いました。湖風祭は多くの方と交流でき、コミュニケーションが取れる楽しい活動です。そして、エコキャンの広報をすることのできる場でもあるので、今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。

模擬店

模擬店のメニュー焼きおにぎり。おにぎりを犬上川竹林プロジェクトで作った竹炭を使って焼きました。



お客様ご来店！



焼いています

生き物展示

生き物クイズ、県大に住む生き物の展示（水槽で魚やザリガニ、カメを展示）、竹紙すき体験、自然素材の小物の販売などを行いました。



生き物クイズ。何問できるかな？



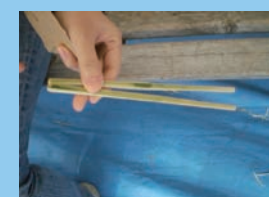
自然素材の小物販売

竹箸

犬上川の竹を有効活用し、お客さんに竹を削りながら竹林の現状を知ってもらいました。

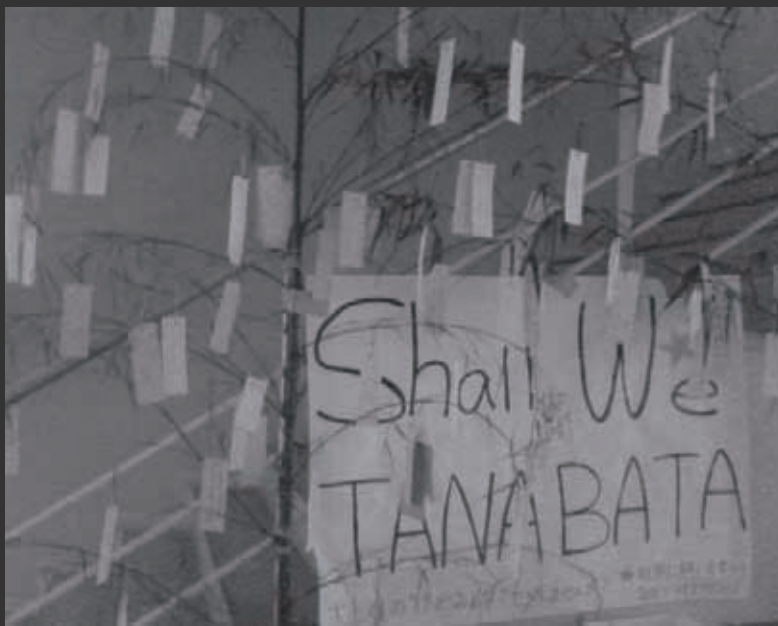


大盛況



竹箸完成

「Shall We TANABATA」というキャッチコピーのもと、七夕イベントを行いました。大きな願い事が叶うようにと、2階の天井まで届くような大きな竹2本を学生ホールに運びこみました。多くの人に願い事を書いてもらえるように、竹と一緒に短冊も設置したところ、竹にはたくさんの短冊がぶら下がりました。犬上川の竹とお星様は、私たち県大生の願いを叶えてくれたはず！？



■来年度の活動

アヒル池や環濠で、イベント的に生物採集を行いたいです。出来れば投網を使いたと思っています。



カムルチー



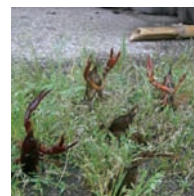
トウヨシノボリ



テナガエビ



スジエビ



アメリカザリガニ



カネヒラ





■概要

昆虫は人間の身近に生活している生物です。それぞれの種が自分に合った環境で生活しています。そこで、私たちは学内の環境を評価し、改善していくにあたり、昆虫の分布状況や生息環境を明らかにすることが重要であると考えました。エコキャンでは、2005年から大学にある照明に集まる昆虫の調査や、地表性の昆虫相を明らかにする為のピットフォールトラップ調査、また、任意採集や目視によって確認された昆虫種を記録するなどして、学内の昆虫相を把握するために活動してきました。

■今年度の活動

犬上川河辺林への大学の照明の影響を調査しました。カブトムシや、ヒラタクワガタ、ゲンジボタルなど学内では見られないような昆虫が飛来していることが判明しました。

また、日常的に学内の昆虫を探しつつ、のどかに生活しました。

■来年度の活動

学内の昆虫のを見つけ採り調査を、それなりに本格的に行いたいです。そして、学内の昆虫リストをそれなりに本格的に作りたと思っています。



ピットフォールトラップ



ライトトラップ

荒神山観察会

6月6日に荒神山で観察会を行いました。といってもほとんど植物の観察会でしたが、自転車でえこ家を出発し、田んぼを抜けると、大学から見るのとは違い、荒神山が異常に大きなものに見えました。登山道に入ってから、静かな登山道に比べてみんなの会話は賑やか。とはいえ1回生はまだ大学に入って間もないので、少々上回生に戸惑っているようにも見えました。途中で植物の解説があると、みんな葉っぱを触ってみたり花の匂いを嗅いだりして、感覚的に植物を知ることができたようです。どんな植物が生えているのかは、参加したらわかりますよ。頂上の展望台でお弁当を食べる頃には、内気な私も1回生と打ち解けられました。えこ家に戻るともう体がくたくたでしたが、今年の春もまたみんなで行ってみたいですね。



準備はOKかな？



いざ出発！



解説中



ちょっと休憩



頂上でお昼ご飯



バナナはおやつです



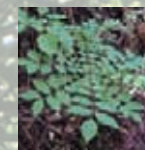
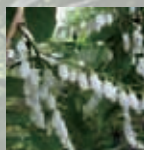
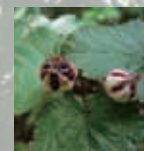
かじってみる



帰るまでが遠足です…

山頂で記念撮影

いろいろな植物が見られました！



高取山合宿

4月6、7日に2年ぶりのエコキャン合宿を行いました。合宿場所は多賀町にある高取山ふれあい公園。エコキャンメンバー23名（学部生、院生、卒業生、先生、東近江市の主婦）が参加しました。

目的地までは自転車で向かい、昼からは高取山頂上を目指してハイキング。植物に詳しい主婦の森さんによる春の植物観察会も同時に行われました。少し汗ばむ陽気の中、あちこちで見られるきれいな花たちに春の訪れを感じながら、みんなで楽しくハイキングをしました。今回の観察会の目玉は、バイカオウレン！真っ白いきれいな花です。この花が群生しているところでは、一同テンションMAX！バイカオウレンをモデルに撮影会が始まりました。寝そべて写真を撮る者も出始め・・・いや～みんな変態だったよ♪エコキャンメンバーは、やっぱり最高です！

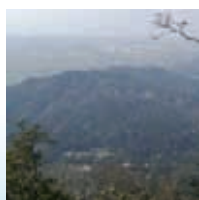
夕食はカレーライスとバーベキュー。遅れて来られた先生も交えて、かんぱ～い！たくさん食べて、飲んで・・・貴重な交流の場となりました。

食後はみんなで輪になって、今までのエコキャン、そして今後のエコキャンについて、夜遅くまで語り合いました。各々の考えを共有できたのはよかったですかなと思います。

来年もぜひ合宿しましょうね～！



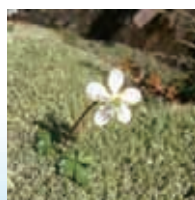
何て植物かな？



いい眺め♪



こんなの見つけた



バイカオウレン



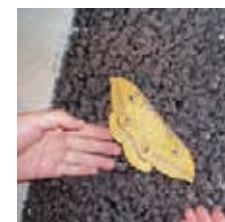
灯火採集調査の様子



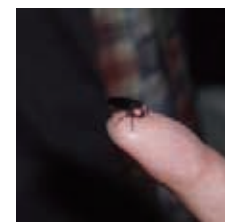
灯火採集調査で採れた虫たち



コクワガタ



ヤママユ



ゲンジボタル



コガネムシ



犬上川竹林プロジェクト



■概要

昔に比べ最近竹の利用が減り、全国の竹林では竹が増えていきます。滋賀県立大学の北西にある犬上川も例外ではなく、竹が増えすぎたことにより植物の種類が減ったり、人が入りにくくなったりしています。こうした問題を解決しようと犬上川竹林プロジェクトでは犬上川の河辺林で竹を伐る活動をしています。「犬上川を豊かにする会」や地域の方、他の団体の方にもご協力をいただき、明るく親しみやすい河辺林にするために頑張っています。なお2007年度に引き続き、2008年度は「スチューデントファーム「近江楽座」/まち・むら・くらしふれあい公舎」として滋賀県立大学からの助成を受けました。

■昨年度行った活動

河辺林の竹の間伐を主に行い、その際生じた竹の材を竹炭にしたり湖風祭にて竹箸づくりのブースに用いたりしました。他にもイベントとしてタケノコ取りを行ったり、食堂の前で七夕祭りを企画したり、病院で竹の楽器の演奏会を行ったりしました。

■今年度の活動予定

昨年度に引き続いて竹の間伐や竹炭づくり、竹箸作りなども行いますが、今年度はほかの団体との交流やイベントを中心に活動を行っていきます。



調査



川辺林で昼食

竹炭の
出来るまで



①竹を切る



②束にして運ぶ



⑤ひたすら焼く



④焼く



③釜に竹を詰める



⑥完成!

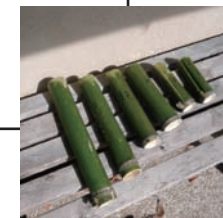
竹の利用



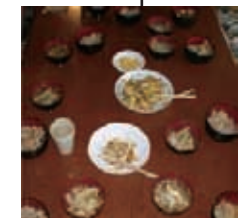
タケノコ



竹楽器の演奏



竹楽器



タケノコ料理